

---

# ベトナム国内 コロナ感染状況報告

2022年1月17日  
オレオウ・ベトナム 事業協同組合  
ベトナム駐在事務所

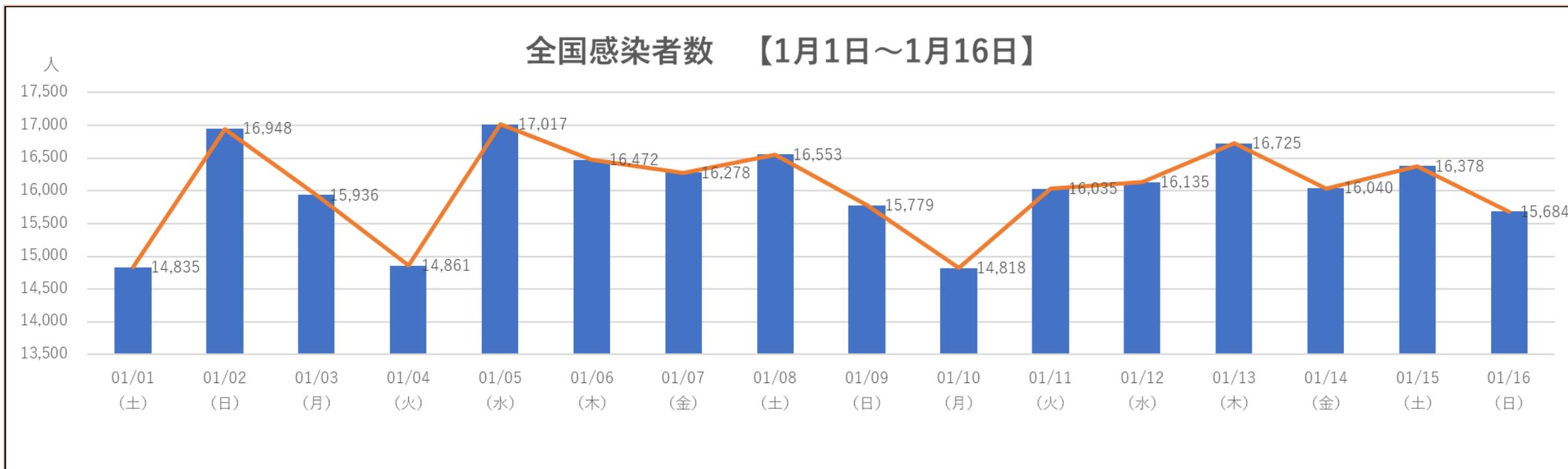
# 1・ベトナム全国感染者数のまとめ

全国感染者数【1月1日～ 1月16日 集計データ】

※10月上旬の1日平均感染者は一時的に3000人迄減ってきたが、その後徐々に増加している。

2022年1月の初旬の1日平均感染者は16,051人が出てきます。

日付	01/01 (土)	01/02 (日)	01/03 (月)	01/04 (火)	01/05 (水)	01/06 (木)	01/07 (金)	01/08 (土)	01/09 (日)	01/10 (月)	01/11 (火)	01/12 (水)	01/13 (木)	01/14 (金)	01/15 (土)	01/16 (日)	平均
全国	14,835	16,948	15,936	14,861	17,017	16,472	16,278	16,553	15,779	14,818	16,035	16,135	16,725	16,040	16,378	15,684	16,051

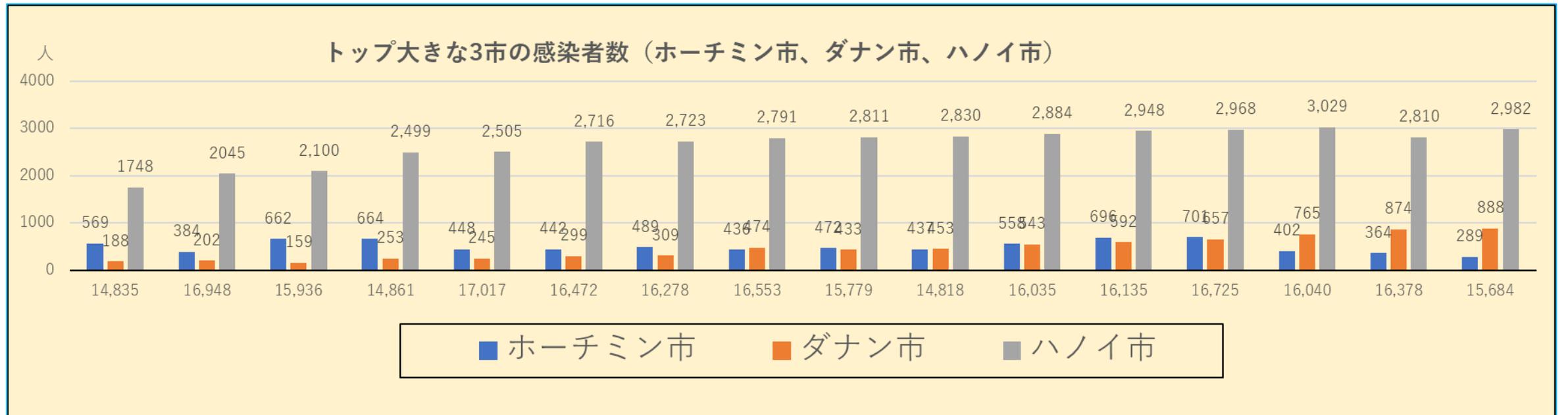


## 2・トップ大きな3市の感染者数（ホーチミン市、ダナン市、ハノイ市のまとめ）

感染者数【1月1日～ 1月16日 集計データ】

※ホーチミン市の感染のピークは過ぎて減ってきた。グリーンゾーン【リスク1レベル】と発表された。  
一方、ハノイ市では感染者が増加して全国で感染者が1番多くて1位になっています。ダナン市の感染者数も増加している傾向です。

日付	01/01 (土)	01/02 (日)	01/03 (月)	01/04 (火)	01/05 (水)	01/06 (木)	01/07 (金)	01/08 (土)	01/09 (日)	01/10 (月)	01/11 (火)	01/12 (水)	01/13 (木)	01/14 (金)	01/15 (土)	01/16 (日)	平均
ホーチミン市	569	384	662	664	448	442	489	436	472	437	558	696	701	402	364	289	504
ダナン市	188	202	159	253	245	299	309	474	433	453	543	592	657	765	874	888	496
ハノイ市	1748	2045	2,100	2,499	2,505	2,716	2,723	2,791	2,811	2,830	2,884	2,948	2,968	3,029	2,810	2,982	2,757



### 3・ベトナム国内移動について



◆**全国で移動制限や全面的なロックダウン等の実施は行いません。**ただし、地方の役場の規則でリスクが高い地域から来た人は1週間程度で自宅隔離を実施している地方がある。

◆ホーチミン市の全地域は**グリーンゾーン（リスク1レベル）**と発表された。

- ・2021年12月13日より中学校・高校・大学は再開校した。
- ・2022年1月10日にカラオケやマッサージやバー等は営業再開可。
- ・2022年2月の初旬に幼稚園や小学校は再開校と検討中。

◆ハノイ市では、**レッドゾーン（リスク4レベル）**の地域がないですが、**オレンジゾーン（リスク3レベル）** 7地域がある。イエローゾーン（リスク2レベル） 23地域があると発表された。

- ・オレンジゾーン（リスク3レベル）の地域では店内で飲食禁止・持ち帰りの営業は可。中学校及び高校はオンライン授業にする。
- ・イエローゾーン（リスク2レベル）と**グリーンゾーン（リスク1レベル）**の地域に対して、中学校や高校は1月17日より再開校してよいと許可されました。

◆国内線は通常通り各線路を再開しました。2回ワクチン接種済の乗客は陰性証明書の提出は免除  
欧米へ定期便再開の案も検討中。

## 4・ワクチン接種及びオミクロン株の感染者等

### ① ワクチン接種の状況：

2022/1/16時点で

- ・18歳以上の人はワクチンの2回目を接種済で94%を超えています。3回目を接種済で約14,7%です。
- ・18歳以上のワクチンの2回目の接種率が90%を超える39/63市省があります。
- ・12歳～17歳の未成年者に対して、34/63市省で2回目を接種済。

### ② オミクロン株感染者数：

2022/1/16時点、合計で68人と発表されました。

地域	ホーチミン市	クアンナム省	ダナン市	ハノイ市	カインホア省	ハイズオン省	ハイフォン市	タンホア省	ロンアン省	合計 68人
人数	30	27	3	1	2	1	1	2	1	

### ③ 国内感染者の治療や隔離ルールについて：

- ・重症の感染者のみ、病院や指定施設で治療及び隔離を実施。
- ・軽症や無症状の場合は、基本的に自宅で2週間程度隔離を実施。  
7日間目と14日間目でPCR検査を実施し、2回とも陰性の場合は隔離実施解除
- ・濃厚接触者の場合は基本的に自宅で隔離と健康状態を観察。7日間目でPCR検査を実施し、陰性の場合は隔離実施解除。